

各位

株式会社朝日ネット

第17回 manaba セミナー 開催のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記の通り「第17回 manaba セミナー」を開催致します。
つきましてはご案内状ならびに FAX 申込書を送付させていただきます。
万障お繰り合わせのうえ、何卒ご来場くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

■ 第17回 manaba セミナー

日 時：2015年10月30日（金） 13:00～19:30 予定（受付開始 12:30～）

会 場：ホテル阪急インターナショナル 4階（大阪府大阪市北区茶屋町19-19）

〈お申し込み方法〉

1. WEB サイトにて承っております。 >>> <http://manaba.jp>
2. 本案内状下部の FAX 申込書でも承っております。必要事項をご記入の上、FAX にてご送付ください。
※お申し込み受理後、確認のためメールまたはお電話等でご連絡させていただく場合がございます。ご了承ください。
※複数名お申し込みいただく場合は、お手数ですが本紙をコピーしてご利用ください。

〈本セミナーについてのお問い合わせ先〉

株式会社朝日ネット 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー21階

TEL: 03-3541-1911 FAX: 03-3541-5579 MAIL: info@manaba.jp

以上

FAX 申込書（切り取らず A4 用紙のままお送り下さい）

フリガナ																		
学校名 所属・役職	学校名	所属・役職																
学校連絡先	TEL																	
	FAX																	
フリガナ																		
お申込者名	姓	名																
メールアドレス																		
<p>ご参加を希望される講演に✓を付けてください。</p> <p>※各セッションの内容については、同封のご案内状をご確認ください。</p> <p>※タイムテーブルは決まり次第、WEB サイトへ掲載します。</p> <p>※セッションの途中入場、退場は可能です。</p>	<p>〈 基調講演 〉</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省顧問 / 前 文部科学事務次官 山中 伸一 氏</p>																	
	<p>〈セッション〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> A-1 金城学院大学 青柳 裕 氏 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> A-2 大阪総合保育大学 藤田 朋己 氏 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> A-3 帝京平成大学 長尾 邦彦 氏 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> A-4 東洋大学 藤原 喜仁 氏 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> A-5 中央大学 久保田 光一 氏 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> Coming Soon 同志社女子大学 嶋田 邦樹 氏 </td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 複数大学による manaba 活用 Tips </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> B-1 龍谷大学 原田 太津男 氏 龍谷大学付属平安中学校 ・平安高等学校 西川 忠克 氏 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> B-2 立命館大学 柳澤 伸司 氏 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> B-3 小樽商科大学 大津 晶 氏 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> B-4 慶應義塾大学 鹿毛 雅治 氏 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> Coming Soon 中央大学 都筑 学 氏 </td> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 文部科学省 片柳 成彬 氏 </td> <td colspan="2" style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 朝日ネット manaba </td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> A-1 金城学院大学 青柳 裕 氏	<input type="checkbox"/> A-2 大阪総合保育大学 藤田 朋己 氏	<input type="checkbox"/> A-3 帝京平成大学 長尾 邦彦 氏	<input type="checkbox"/> A-4 東洋大学 藤原 喜仁 氏	<input type="checkbox"/> A-5 中央大学 久保田 光一 氏	<input type="checkbox"/> Coming Soon 同志社女子大学 嶋田 邦樹 氏	<input type="checkbox"/> 複数大学による manaba 活用 Tips		<input type="checkbox"/> B-1 龍谷大学 原田 太津男 氏 龍谷大学付属平安中学校 ・平安高等学校 西川 忠克 氏	<input type="checkbox"/> B-2 立命館大学 柳澤 伸司 氏	<input type="checkbox"/> B-3 小樽商科大学 大津 晶 氏	<input type="checkbox"/> B-4 慶應義塾大学 鹿毛 雅治 氏	<input type="checkbox"/> Coming Soon 中央大学 都筑 学 氏	<input type="checkbox"/> 文部科学省 片柳 成彬 氏	<input type="checkbox"/> 朝日ネット manaba	
	<input type="checkbox"/> A-1 金城学院大学 青柳 裕 氏	<input type="checkbox"/> A-2 大阪総合保育大学 藤田 朋己 氏	<input type="checkbox"/> A-3 帝京平成大学 長尾 邦彦 氏	<input type="checkbox"/> A-4 東洋大学 藤原 喜仁 氏														
	<input type="checkbox"/> A-5 中央大学 久保田 光一 氏	<input type="checkbox"/> Coming Soon 同志社女子大学 嶋田 邦樹 氏	<input type="checkbox"/> 複数大学による manaba 活用 Tips															
	<input type="checkbox"/> B-1 龍谷大学 原田 太津男 氏 龍谷大学付属平安中学校 ・平安高等学校 西川 忠克 氏	<input type="checkbox"/> B-2 立命館大学 柳澤 伸司 氏	<input type="checkbox"/> B-3 小樽商科大学 大津 晶 氏	<input type="checkbox"/> B-4 慶應義塾大学 鹿毛 雅治 氏														
<input type="checkbox"/> Coming Soon 中央大学 都筑 学 氏	<input type="checkbox"/> 文部科学省 片柳 成彬 氏	<input type="checkbox"/> 朝日ネット manaba																
<p>〈 コーヒーブレイクセッション 〉</p> <p><input type="checkbox"/> 朝日新聞社 <input type="checkbox"/> 東洋経済新報社 <input type="checkbox"/> 日本英語検定協会 <input type="checkbox"/> 朝日ネット respon <input type="checkbox"/> 朝日ネット 授業評価アンケート</p>																		
<p>〈 懇親会 〉</p> <p><input type="checkbox"/> 懇親会 ※参加費無料</p>																		

FAX

FAX 03 - 3541 - 5579

大学が国内外で厳しい競争に晒される今、生き残りをかけ、求められる教育改革とは

大学教育改革の必要性については、これまで繰り返し叫ばれてまいりました。それぞれの大学におかれても「カリキュラム構成の見直し」、「学生の能動的な学修を重視した指導方法の導入」、「学生の学修時間増加に向けた指導」、「学習成果にかかる評価の充実」などの取組が進められておりますが、一方でこうした取組が実効性を持って進められているのは一部の大学にとどまっているとの指摘もあります。(文部科学省高大接続システム改革会議より)

本講演では、これまで文部科学行政の第一線で陣頭指揮を執られてきた前文部科学事務次官の山中伸一氏をお迎えし、「今、何故、大学教育改革が必要とされているのか」、「どのような大学教育改革が求められているのか」についてご講演いただきます。



文部科学省顧問 /
前 文部科学事務次官
山中 伸一 氏

52年文部省入省。私学部長、教育再生懇談会担当室長、スポーツ・青少年局長、大臣官房長、初等中等教育局長、文部科学審議官などを経て、平成25年7月から文部科学事務次官。平成27年8月退官し、現在文部科学省顧問に就任。

文部科学省による大学教育改革の方向性の解説

Introduction

● 質的転換答申から高大接続答申へ

～中央教育審議会答申から見る社会が大学教育に求める変革とは～

昨年末に文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学選抜の一体的改革について」を答申したところです。そこで語られている「大学教育の質的転換の断行」について、過去の答申も振り返りながら、解説をしていただきます。

文部科学省 高等教育局
高等教育企画課 高等教育政策室 室長補佐
片柳 成彬 氏

早稲田大学を卒業後、平成18年文部科学省へ。初等中等教育局児童生徒課企画係長、高等教育局専門教育課専門職大学院室法科大学院係長、その後、内閣官房へ出向(国家公務員制度改革に携わる)を経て現職。

基調講演 | 文部科学省顧問／前 文部科学事務次官 山中 伸一 氏

全学LMS導入のコンセプト構築と運用工夫

Start Up

導入フェーズ

● 他システムから manaba へ ～選定理由と利用シーン～ | 金城学院大学 青柳 裕 氏

A-1
詳細裏面

● 全学LMS導入までの道のり(予定) | 同志社女子大学 嶋田 邦樹 氏

coming soon

● 主体的な学びを引き出す仕組みづくり | 大阪総合保育大学 藤田 朋己 氏

A-2
詳細裏面

● 入学前から国家試験合格までを支えるLMSの導入と運用 | 帝京平成大学 長尾 邦彦 氏

A-3
詳細裏面

LMSを取り入れた授業実践と運用施策

How to Use

運用フェーズ

● manaba 活用Tips ～授業での多様な実践事例と工夫～

本セッションでは、manaba を実際に授業で活用されている先生をお招きし、どのようにmanaba を効果的に活用しているか実践事例をお話しいたします。各登壇者は専門も授業スタイルも異なりますが、明日の授業の中に取り入れていただける manaba 実践の工夫やヒントが多く散りばめられています。manaba 利用中の方はもちろんのこと、manaba を利用したことのない方も、新たな気づきを得ていただけるはずです。

【登壇者】

立命館大学 生命科学部 生命情報学科 准教授
木村 修平 氏
東洋大学 文学部 教育学科 准教授
須田 将司 氏
小樽商科大学 教育開発センター 教務補佐員
中津川 雅宣 氏
立命館大学 産業社会学部 メディア社会専攻 教授
柳澤 伸司 氏
神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授
横山 正子 氏

● 5年間の運用実績から見えてきた利用率アップの施策 | 東洋大学 藤原 喜仁 氏
A-4
詳細裏面

● manaba を「入り口」とした学内サービスとの連携 | 中央大学 久保田 光一 氏
A-5
詳細裏面

各種教育プログラムにおけるICTの展開

Various Programs

グローバル人材育成

coming soon

- SENDプログラムを通じた日本語教育の可能性
～GGJ事業4年目に見えてきたもの～（予定）

中央大学 都筑 学 氏

高大接続

詳細裏面 B-1

- 中・高・大と長期的視野に基づく
ポートフォリオを用いた学修成果の蓄積

龍谷大学 原田 太津男 氏 龍谷大学付属中学校・高等学校 西川 忠克 氏

リテラシー教育

詳細裏面 B-2

- 活字を通じた大学でのリテラシー教育
～デジタルで変わる学び、変わらない新聞の意義～

日本NIE学会 / 立命館大学 柳澤 伸司 氏

アクティブ・ラーニング

詳細裏面 B-3

- 大人数クラスにおける効率的なアクティブ・ラーニングの実践
～ manaba コミュニケーション支援アプリ「respon」活用事例～

小樽商科大学 大津 晶 氏

教職課程

詳細裏面 B-4

- 効果的な学びを実現する教職課程の実践
～コミュニケーションを重視した manaba の活用事例～

慶應義塾大学 鹿毛 雅治 氏

コーヒーブレイクセッション

Coffee Break

第16回 manaba セミナーで実施しました manaba 関連サービスのご紹介です。前回ご参加いただけなかった皆様はぜひご参加ください。

朝日新聞デジタルfor
アカデミーを使った
授業事例のご紹介

朝日新聞

経済学基礎講座での
e-learning活用事例

東洋経済新報社

IELTSの傾向と英語
ライティング講座に
ついて

英検 公益財団法人
日本英語検定協会
Eiken Foundation of Japan

respon(レスポン)
で今日からはじめる
アクティブ・ラーニング



manaba で実現する
授業評価アンケート
のご提案

AsahiNet

グローバル人材育成 | 高大接続 | リテラシー教育 | アクティブ・ラーニング | 教職課程

教育支援サービス manaba とは…



manaba (マナバ)は、大学教育改革を推進する手段の一つとして、日本の多くの教育機関でご利用いただいている教育支援サービスです。学習支援システム(LMS)の manaba course と、ポートフォリオシステムの manaba folio の導入実績は累計250以上になり、日々様々な場面で活用されています。本セミナーでは、manaba の基盤である多種多様な活用事例に加えて、提供システムの機能概要等についてもご紹介させていただきます。

A-1 | リプレース

他システムから manaba へ ～選定理由と利用シーン～

金城学院大学では長年オープンソース型LMSを活用していましたが、システムを再検討することになり、安全面や機能の使いやすさを重視した「manaba」へ全学的にリプレースしました。導入3年目となる同様に、前システムとの比較を軸に、システムの検討から導入、授業での運用までの流れをご講演いただきます。

金城学院大学 薬学部 教授 / 大学教務部長
青柳 裕 氏

1987年東京薬科大学大学院薬学専攻博士前期課程修了後、民間製薬会社研究員、コロラド州立大学博士研究員、東京薬科大学准教授を経て、2011年4月から金城学院大学薬学部教授、2012年4月から同大学教務部長を務める。

A-2 | 補助金活用・ポートフォリオ

主体的な学びを引き出す仕組みづくり

大阪総合保育大学では、教員養成校として、4年間を通じて約1,700時間現場経験を積む「子どもと1,700時間」プログラムを行っています。本プログラムの効果向上のために文科省の助成金を活用し、学びの環境整備の一環として manaba を導入しました。本講演では、学生の『学び』を引き出すための環境作りについてご講演いただきます。

大阪総合保育大学 児童保育学部 児童保育学科 准教授 / 情報視聴覚室 室長 藤田 朋己 氏

立命館大学大学院理工学研究科修了。大阪城南女子短期大学を経て、2008年より現職。現在情報視聴覚室室長。大学では情報教育科目を担当し、実践力を備えた教員(保幼・小・特支)の養成に取り組んでいる。

A-3 | 入学前教育・国家試験対策

入学前から国家試験合格までを支える LMSの導入と運用

医療系総合大学である帝京平成大学では2011年度より全学的に manaba を導入し、利用を推進しています。地域医療学部では、入学前から国家試験合格までの学生支援を manaba で行う教育プロジェクトを立ち上げました。本講演では実践事例を交え、長期にわたる段階的な学びのプログラムについてご講演いただきます。

帝京平成大学 地域医療学部 理学療法学科 学科長
長尾 邦彦 氏

1983年帝京大学医学部附属瀧口病院リハビリテーション部に理学療法士として入職。在職中、筑波大学医療技術短期大学、香川医科大学の非常勤講師を歴任。2010年現職に就任。

A-4 | 利用率アップ・運用サポート

5年間の運用実績から見てきた 利用率アップの施策

LMSを導入しても利用率が上がらないという声をお伺いする機会が増えてきました。東洋大学では2010年に manaba を導入し、今では1,000人以上の教員や3万人の学生が manaba を利用しています。本講演では5年間の運用実績から利用率を向上させるための、明日からできる施策を統計情報や具体例を交えてご講演いただきます。

東洋大学 情報システム部 情報システム課 課長補佐
藤原 喜仁 氏

教育研究システム分野に従事。授業支援システム/学内グループウェア/PC教室/Google Apps等の企画立案・導入・システム運用・利用推進・利用者支援などを行っている。

A-5 | システム連携・統計活用

manaba を「入り口」とした学内サービスとの連携 ～利用統計に基づく manaba 利用率向上への中央大学での試み～

中央大学では、学内の様々なシステム(統合認証基盤、教務システム、動画配信サービス、電子教材等)と連携を図りながら学生がシステムを利用する際の「入り口」として manaba の利用推進を行っています。本講演では、全学での授業等の利用実態や授業以外の利活用の取組について、統計情報をもとにご講演いただきます。

中央大学 理工学部 情報工学科 教授
久保田 光一 氏

東京大学大学院修了、慶應義塾大学を経て2001年より現職。「プログラミング演習」、「数値計算」などの授業を担当。2013年より後楽園キャンパスITセンター長として情報環境の整備に取り組んでいる。

B-1 | 高大接続・初年次教育

中・高・大と長期的視野に基づく ポートフォリオを用いた学修成果の蓄積

龍谷大学では2015年度より全学的に manaba の運用を開始しております。現在では付属校である龍谷平安中学校・高等学校にも利用範囲を拡大しております。本セッションでは、中・高・大へポートフォリオの利用を拡大した背景や目的を始めとし、経済学部と附属中学校及び高等学校での活用状況についてもご講演いただきます。

龍谷大学 経済学部 教授 教務主任
原田 太津男 氏

龍谷大学 付属平安中学校・平安高等学校 数学科教師
西川 忠克 氏

B-2 | 情報リテラシー教育

活字を通じた大学でのリテラシー教育 ～デジタルで変わる学び、変わらない新聞の意義～

近年、新聞を読まない若年層や世帯が増えております。その結果、時事的な記事を読む能力(リテラシー)が落ち、新聞を活用して読解力を養う必要性が問われております。本講演では、活字メディアである新聞を中心にNIE(新聞利用学習)の可能性を探り、新聞を通じた様々な学びについて、実際の授業での活用事例を交えてご講演いただきます。

日本NIE学会 常任理事 / 立命館大学 産業社会学部 メディア社会専攻 教授
柳澤 伸司 氏

(財)電気通信政策総合研究所(現・国際通信経済研究所)研究員を経て、現職。活字メディアである新聞を中心にNIE(新聞利用学習)の可能性やジャーナリズムとメディア・リテラシーについての研究に従事。

B-3 | アクティブ・ラーニング

大人数クラスにおける効率的なアクティブ・ラーニングの実践 ～ manaba コミュニケーション支援アプリ「respon」活用事例～

教員と学生あるいは学生同士の多様なコミュニケーションを取り入れる形式のアクティブ・ラーニング導入が進む中で、大学の講義で避けることができない大人数クラスにおいても、グループ作業やディスカッションの質を高める工夫が求められています。本講演では、携帯端末アプリ「respon」を用いてクラス全体の講義参加を実現し、合わせて学生が同時に複数の仮想グループでの意見を参照しながらディスカッションの質を高めていく講義手法の事例とその成果についてご講演いただきます。

小樽商科大学 商学部 社会情報学科 准教授
大津 晶 氏

筑波大学大学院 社会学研究科修了(博士(社会学))。2003年に小樽商科大学赴任後、ビジネス創造センター副センター長などを経て現在は教育開発センター 兼任。本年4月から学長特別補佐(アクティブ・ラーニング推進担当)。

B-4 | 教職課程・学修支援

効果的な学びを実現する教職課程の実践 ～コミュニケーションを重視した manaba の活用事例～

慶應義塾大学教職課程センターでは2007年度より manaba を導入しています。"教職ログブック"として履修カルテの運用に加え、学生との面談記録やレポート課題等に日々 manaba を活用しています。本講演では8年間の運用からみえた導入効果について具体的な活用事例を交えてご講演いただきます。

慶應義塾大学 教職課程センター 教授
鹿毛 雅治 氏

横浜国立大学教育学部卒。慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻博士課程単位取得退学。博士(教育学)。「教員養成GP」の活動を通じて、教職ログブックの導入に携わる。著書に「学習意欲の理論-動機づけの教育心理学」(金子書房)などがある。



前回セミナーの様子



アプリ「respon」(写真)にて講演者への質問をライブで受け付け、大変好評をいただきました。本セミナーではコーヒープレイクセッションにて respon のご紹介を行います。



アクセス

ホテル阪急インターナショナル

大阪府大阪市北区茶屋町19-19 TEL 06-6377-2100
阪急「梅田駅」茶屋町口より 徒歩3分
JR「大阪駅」より 徒歩10分

お申し込み

 <http://manaba.jp>

 **03-3541-5579**
FAX

今後、株式会社朝日ネットからの同様のご案内を不要とする場合は、大変お手数ですが、本案内状記載の「お問い合わせ」先までご連絡をお願いします。

